

伊賀

市議会
だより

2010.8.1
No.22



電子黒板で、楽しい授業 (久米小学校)

主な掲載内容

活動報告	2~3	一般質問	4~9
表彰と感謝状の授与	9	常任委員会	10
6月定例議会で決まったこと	11	議会報告会の様子と予定	12
平成22年9月議会日程	12	編集後記	12

議会の活動報告

菜の花プロジェクトで伊賀市を活性化！

搾油施設 菜の舎なくらを視察

産業建設常任委員会で、3月に伊賀市甲野にオープンした「菜の舎」を視察しました。

地域でつくり、地域で消費する「地産地消」と、生産だけでなく、加工や流通、販売などを含めて取り扱い、今までの農業にさらに価値を高める取り組みの一つで、菜種などから油を絞り、



加工する施設です。7月に入って、地域で育てられた菜種が刈り取られ、本格的に操業されています。加工された油は各地域で販売もされています。この油を利用いただくことで地域での循環が生まれ、さらに施設の活用がされることを期待しています。



ごみを減らして資源に！ リサイクルの拠点

資源化ごみ処理施設が竣工！

伊賀市治田のさくらリサイクルセンター内に、資源化ごみ処理施設が完成し、6月30日に竣工式があり、施設の視察を行いました。

7月1日より、金属製粗大ごみおよび、金属類・びん類・プラスチック製容器包装・アルミ缶・ペットボトルを破碎、選別、圧縮し、リサイクルするための施設として稼動しています。

また、プラスチック製容器包装については「わかのコンパス」という声を多く聞きます。不明な点は、清掃事業課にお問合わせいただきます。環境に優しいまちづくりのため、家庭ごみの分別を進めましょう。

議会としても総工費約13億円この施設の有効な稼動を見守りたいと思います。



庁舎問題について 市民と意見交換

総務・産業建設常任 委員会での出前講座

6月4日夜、「伊賀の建築文化を考える会」（代表 滝井利彰）からの要請で総務・産業建設常任委員会合同による出前講座「新庁舎建設・中心市街地活性化事業について」がゆめぼりセンターで開催されました。

会からは、「坂倉準三建築の群としての文化的な価値について」、「中央公民館の耐震診断ができていない」、「建設費から全面新築案と保存・改修案の比較」、「具体的なバリアフリーの提案」などが示されました。また議員からは「坂倉建築について他市で保存されているものがあるのか」、「今まで保存の運動がなかったのはなぜか」など意見が交わされました。折しも、新庁舎は全面新築することが望ましいと結論づけた「伊賀市庁舎建設基本計画（案）」がパブリックコメント（5月14日から6月13日）にかけられているなかでの出前講座でしたが、意義深い会合でした。



読みたくなる「議会だより」を目指して

広報先進地視察

広報委員会の視察

視察地
▽ 愛知県豊田市議会
▽ 山梨県昭和町議会



6月29日、30日の両日、議会広報のあり方について、視察研修を行いました。

豊田市は広報活動の重要性を議員全員が認識し、議会運営委員会の中に広報の小委員会を設置して、広報を発行し、全国の中核都市の広報紙コンクールで優秀な成績を上げています。

21年度の広報紙の全国コンクールで準優勝した昭和町は、議会広報の向上のために議員全員が大変熱心に研究されていました。視察で学んだ「ありのままに わかりやすく 住民とともに」を広報の基本とし、議会と住民のコミュニケーションの場としての役割を果たしていきたいと考えています。

ここが聞きたい

一般質問

市政を問う

6月10日から15日まで、16人の議員が市の諸問題について質問をしました。

一般質問

中盛 汀 議員

質問項目

- ・ガンに対する意識向上をめざして常に伊賀市のPRを！

問

子宮頸ガンの予防ワクチンに公費助成を



日本では年間約1万5千人が発症し、約3千5百人が死亡していると推計される子宮頸がんは、乳がんに次いで高い罹患率で、20代

30代の若い女性に急増しています。性交渉経験のある女性約8割が生涯に一度は感染するといわれる、ごくありふれた「ヒトパピロームウイルス」が発症に大きく関わっていることが解明され、唯一、予防できるがんといわれております。昨年、国でも予防ワクチンが承認されましたが、7ヶ月間に3回接種で、約5万円前後の費用がかかり、ワクチン接種推進のため、全国で40近い自治体が公費助成を始めていますが、伊賀市ではいかがですか。

答

試算をし、検討中です

22年度の財政規模から当初予算を編成しており、全国的な傾向、費用等の試算をし、今後、新規事業として取り組むか検討中です。国内に住む方が同じ公費負担で実施されるよう、国へ要求していきます。

一般質問

安本美栄子 議員

質問項目

- ・新庁舎建設に関わって
- ・指定管理者制度と民間委託について
- ・自治組織と基本条例について

問

新庁舎はなぜD案なのか。市民への情報提供は？



諮問機関から2案の答申を受け1案に絞ってパブリックコメントにかけた経緯と、議論の内容をお示しく下さい。また支所と本庁との関係はどのようになるのですか。

答

自治協と自治会の整理後に説明

13回の検討委員会での審議を整理するにあたり、この場所での優位性や、基本的なあり方については全面改築に等しい内容でありました。今後、市庁舎の利活用を考えますと、全面改築と考えています。最終的には政策調整会議で決定しました。自治協に対して説明が足りない点については、自治協と自治会の整理後に情報提供します。

また支所については、機構改革するにあたり議論してきた大きな支所、小さな本庁の理念があり、職員の見直しで混乱しています。将来、組織としてそれぞれの地域の身近な問題を処理するための支所は必要であります。

一般質問

奥 邦雄 議員

質問項目

- ・ 農業政策について
- ・ 民間の工業団地の活用について
- ・ 都市マスタープランについて

問

伊賀米ブランドの販売戦略は

命の源泉の基盤を担う米作農業は、未来の展望が開けず、担い手の高齢化と担い手不足で耕作放棄は増加の一途を辿っています。

政府は食料の自給率の向上のため栽培農家を対象に戸別補償制度モデル対策を推進していますが、食の多様化によって、米余りで市場価格が下落傾向にあり、地産地消を含め産地間競争が厳しい状況にあります。伊賀米の販売戦略の方向性をお尋ねします。



国・県の政策を十分活用しながら生産者に細かい指導と、米市場へのPRに努めていただきたいと思います。

答

国の政策を活用し 米のPRに努めます

戸別補償制度、中山間制度や菜の花等の産地づくり交付金制度の活用を推進するとともに、食志向のニーズによって消費の減少が価格の下落につながっているため、備蓄米の要望と伊賀米のPRに努めます。

一般質問

田山 宏弥 議員

質問項目

- ・ 中心市街地活性化について
- ・ 観光振興について
- ・ 災害に備える安全なまちづくりについて

問

まちなか観光の推進を

伊賀は独自の文化を形成し、特有の資源や素材が多くありながら、その魅力が十分に発揮されていない現状にあります。

今後は、今ある観光施設を結びつける企画や観光メニューの提供・開発など、まちめぐりをしたいと思ってもらえる取り組みを進めるべきだと考えますが、いかがですか。



答

城下まちのよさを 歩いて感じてもらいたい

旧城下まちへ観光客のみなさんに訪れていただいで、ぜひ歩いてもらって、まちのたたくまいを見ていただきたいと思います。観光客の方に回遊してもらいますが、まちの商業の活性化にもつながっていきますし、そのために中心市街地活性化事業にも取り組んでいく予定です。

一般質問

森岡 昭二 議員

質問項目

- ・ 行財政改革について
- ・ 地域医療について
- ・ 耐震対策について
- ・ 地元業者育成支援について
- ・ RDF（リサイクル燃料）施設の今後の対応について
- ・ 環境問題について

問

一日も早い拠点病院を

7月からさらに内科医師が三重大医局に引き上げられますが、7月以降の救急輪番制はどのようになりますか。



答

自力で二次医療を担える 体制づくりに努める

併せて、現段階の議論においては、一日も早い拠点病院の建設の時期と場所を明示すべきと考えますが、市長の考え方をお願いします。

上野総合市民病院の医師の激減のため、救急当番日が減少していく状況ですが、救急に穴をあけることができないので、名張市と一体となって救急の対応について最終協議をさせていただいています。また、拠点病院の建設については議論が進まない現状においては、上野総合市民病院が自力で二次医療も担える体制づくりが一番大事ですので、今後もしっかり取り組んでまいりたいと考えています。

一般質問

上田 宗久 議員

質問項目

- ・伊賀市財政の見直しについて
- ・校区再編のこれからについて
- ・森林資源の活用について

問

急速に増加している複式学級による「教育環境の格差」の早期是正を

伊賀市の、特に南西部、北東部の小学校では、少子化による複式学級の増加が年々顕著になってきており、不均衡な偏在の現実があります。

このような「教育環境の格差」の解決にむけて「伊賀市校区再編計画」があり、すでに6年経過しました。地区の「合意と



参画」に早急に取り組まなければなりません。いかがお考えですか。

答

次の小学校校区再編開校は、25年から26年度中をめざします

「上野南中学校」開校後の24年度はじめには、2つの中学校が廃校になります。また、複式学級のある小学校は7校、複式学級数は9学級になると予測されます。

この状況を踏まえ、25年から26年度中に、成和丸山の両中学校区内のそれぞれの小学校を再編統合し、新しく開校できるように、努力していきます。

一般質問

中谷 一彦 議員

質問項目

- ・最近の地方財政の動向と課題
- ・環境政策について

問

物件費の削減が最重要課題

伊賀市の物件費16・3%は類似団体12団中2年連続最下位です。

財政見通しで財産収入の根拠と文化ホールの効率的な管理運営についてこのよう



に考えていますか。

答

公共施設の整理統廃合を積極的に行います

予定財産収入は年間5千万円となっています。管財課も新たに設置し、財産管理システムの整備活用により、不用財産の洗い出し等が可能になりつつあります。また公共施設の整理統廃合を行い、さらに不用財産が生じてきます。

財産収入を確保する一方で、施設の統廃合により、管理コストの削減に努めます。

一般質問

中井 洸一 議員

質問項目

- ・青山高原ウインドファーム風力発電増設事業について
- ・幅員4m未満の道路（狭あい道路）の整備について

問

風力発電施設による健康被害への対策と増設計画に対する再検証を



風力発電施設「ウインドパーク笠取」の風車の騒音で健康被害を訴えている住民に対して刻も早い対策を。さらに青山高原ウインドファームが40基の風力発電施設の増設を計画している件について、より自然環境や人体への影響を調査し十分な議論を行い住民の合意形成を得るべきと考えますがいかがですか。

答

調査し、適切な行政指導を行います

風力発電による健康被害に対する対策は、市としてきちんとした調査を行い、風車を止めさすなど適切な行政指導を行いたいと思います。

また40基の増設計画に対しては、大型の風車による自然環境や人体への影響について十分な議論が必要で確証が得られない限り安易に進めることはできません。

一般質問

百上 真奈 議員

質問項目

- ・ 10月実施の新水道料金について
- ・ 高齢者が安心して暮らせる街づくりを
- ・ 住宅等の耐震診断・改修の促進・支援について

問

遅れている木造住宅の耐震化を
すすめ、安心・安全のまちづくりを



東海地震等に備えて、市では木造住宅の耐震化目標を平成27年に90%にするため、19年以降9年間で千八百戸の耐震診断が必要としています。しかし昨年末までの無料診断実施は413戸、耐震改修は17戸で、県内最低の状況です。診断、改修促進のため、市独自で改修助成金の上乗せや、すでに5市町で実施している耐震シエルトの費用助成をしてはどうですか。

答

耐震シエルト助成制度を検討

市民の生命、財産を守るために、市として耐震診断、改修を支援することは重要です。今年度は木造住宅耐震促進協議会のエリアマネージャーと共に、自治会と協働して啓発をさらに進めます。耐震シエルトの助成制度を市が導入したら、県が二分の一を助成する制度がありますので、今後導入について検討いたします。

一般質問

近森 正利 議員

質問項目

- ・ 救急医療情報キットの活用
- ・ AED設置場所の拡充
- ・ グラウンドの芝生化（鳥取方式）
- ・ 新小学1年生に絵本のプレゼント

問

救急医療情報キットの活用を



伊賀市では、65歳以上の高齢者単身世帯が、2千八百世帯以上あります。そのような状況で、高齢者や障がいのある人から救急通報があり、その方が一人暮らしであった場合に、かかりつけ医療機関や持病・服用している薬・アレルギー・緊急連絡先などの情報を確認し救急隊員が、早急に的確な情報を得ることにより迅速な対応に役立つ方法として、また災害時要援護者の支援対策としても、自治体で活用されており、また救急医療情報キットを伊賀市でも活用してはどうでしょうか。

答

活用を検討します

救急に必要な情報であり、救急隊員が、早急に的確な情報を得ることにより迅速な対応に役立つ方法として、また災害時要援護者の情報としても活用を検討していきます。

一般質問

坂井 悟 議員

質問項目

- ・ 市政全般について
- ・ 指定管理について

問

地域医療・同和問題どう進めるか



地域医療体制について、7月以降の名張市との合意はできていますか。また、3月の確認書はどう進んでいますか。
併せて、3月に市役所へ同和地区を問い合わせる電話があったと聞き、人の心を変える、気づかせるための意識の問題として、同和問題の解決に向けた市の基本的な考え方を伺います。

答

引き続き、取り組みます

地域医療は、当面7月以降の輪番制の現状を踏まえ、応援体制も含め、実施割合を検討しており早急に詰めたいと思います。また、市民の不安解消のため「伊賀市救急相談ダイヤル24」を7月1日から開始するとともに、医師確保に努めます。
同和問題では、現存する差別の実態は認識しています。差別の実態がある限り、しっかり取り組んでいきます。また、学校教育では反差別の仲間づくりの取り組み、生涯学習では常に啓発し続けていくしかないと考えます。

一般質問

北出 忠良 議員

質問項目

- ・農林水産業の将来ビジョン（農業編）
- ・鳥獣害対策室の役割と機能について
- ・水道事業について

問 〆あんしん〆できる対策を



今回、新設されました鳥獣害対策室の役割と機能についてお伺いします。

答 着実に前進を

農作物被害について、本格的に取り組むにあたり、これまでの部門を横断した部署が必要となり、鳥獣害対策室を立ち上げました。鳥獣害に係る特別措置法に基づき設立した鳥獣害対策協議会において、平成20年度に被害防止計画を策定し、地域と行政や関係機関が一体となり獣害対策を推進しているところですが、今後も鹿・猪の捕獲による個体数調整を行い、猿の追い払い活動を奨励し被害の軽減を図ります。

また、平成21年度にアライグマ防除実施計画を策定し、22年3月に国の確認を受け狩猟免許を持たない一般の方でも捕獲従事者として登録していただくことやアライグマを捕獲することができるよう体制を整備しました。今後とも地区の方と協働で防除を進めていきたいと考えています。

一般質問

岩田 佐俊 議員

質問項目

- ・市庁舎建設に関して
- ・上野市駅前地区市街地再開発事業建設工事に関して
- ・伊賀市行政発注の建設工事に関して
- ・病院に関して

問

上野市駅前地区市街地再開発事業工事の中で地下水噴出対策は大丈夫か



三重県内の他市において、県の合同庁舎建設が停止となっており、原因は突如噴出した地下水のため、周辺の家屋が地盤沈下したこのことです。上野城内掘も高所にあり、水が抜けると大変な事態となりますが、心配無用ですか。

答 十分留意して施工します

地下掘削が必要となるので、地下水の噴出が懸念されますが、ビルの施工中には敷地周囲に土砂とセメント系固材を攪拌（かくはん）して造成したものを連続的に構築し、柱列状に造成した山留壁によって止水をします。

市民の皆様方に不安を与えることのないよう充分留意して施工したいと考えています。

一般質問

馬場登代光 議員

質問項目

- ・国の事業仕分けについて

問 国の事業仕分けの感想は



昨年政権が変わって国の事業仕分けが行われ注目されたところであります。

今年は独立行政法人、公益法人の仕分けが行われ、天下り人事、事業の廃止、みなおし事業に対してテレビ等のマスコミ報道を見ても、こんなむだなことが行われていたのかと思われたことが多くあったのではないのでしょうか。どんな感想をお持ちですか。市の参考にになりましたか。

答 多岐にわたり参考に

「コスト面の見直しや事業のたな卸ができるという点や、公開の場での行政の説明責任の実現、そして、職員の事業に対する責任感が増大するという面での意識改革に意義があったものと評価しています。」

一般質問

稲森 稔尚 議員

質問項目

- ・市庁舎建設について
- ・放課後児童クラブについて
- ・男性の育児参加について
- ・公共サービス基本法について

問

放課後児童クラブの待機児童をなくし、老朽化した施設の改善を！

上野西小学校区の放課後児童クラブで約30人の待機児童が出ています。特に二丁が高まる夏休み以降の対策を急いでください。

また、放課後児童クラブ「レインボー」（上野忍町・旧曙保育園）は老朽化が進み、現場からは改築を求める声も寄せられています。



子ども、保護者、現場の皆さんが安心できる施設環境が必要だと考えますが、いかがですか。

答 「ひかり保育園」敷地内に

7月以降、ひかり保育園（小田町）の敷地内で、地域の皆さんと社会事業協会の協力により新たな児童クラブを設置します。これで待機児童は解消される見込みです。

「レインボー」の改築等については、上野西小学校区の二丁を踏まえながら、今後の検討課題とします。また、耐震診断は計画的に行う必要があると考えています。

一般質問

森永 勝二 議員

質問項目

- ・災害に強いまちづくりを進めるにあたって
- ・風力発電について
- ・救急医療について
- ・介護保険について
- ・同和事業の終結を

問

南平野木興線の完成を

市街地の南平野木興線について、368号間で開通すると災害に対しても交通上も大きな役割を発揮します。優先して実施すべきだと思いますが、いかがですか。



答 地元からも強い要望

都市計画道路の取り組みですが、上野市駅前の再開発事業で道路整備を計画している部分と、白鳳高校の関係で大関食堂の交差点からの道路整備を計画しています。

ご質問の南平野木興線については、もつ少し区間が残されています。狭い地域で密集したところの残る区間については地元からの要望も聞いていますので頑張っていきたいと考えます。

議員永年勤続表彰と

感謝状授与

平成22年5月26日に開催された第86回全国市議会議長会定期総会において、2名の議員が永年勤続表彰と感謝状を授与されました。

これは、全国市議会議長会表彰規定により表彰されたものです。

また、第93回東海市議会議長会定期総会においても、同様の表彰がありました。

議員永年勤続10年表彰



森岡 昭二 議員

感謝状

全国市議会議長会評議員



坂井 悟 議員

常任委員会

各常任委員会では、第4回定例会で付託された議案8件、請願1件について審査を行いました。主なものは、次のとおりです。

総務

議案 4件

伊賀市職員の 育児休業等 に関する条例の改正

社会全体で「仕事と家庭の両立支援策を充実させる」ことを目的に国の育児休業法に合わせて改正するもので、一つは、配偶者が専業主婦であれば育児休業が取れませんが、これからは配偶者の就業の有無や育児休業の取得の有無にかかわらず、育児休業、育児短時間勤務、部分休業を取得することができるようになりました。

一つめは、「産後・パ育休」の新設で、これまでは育児休業は原則1回でしたが、改正後は、出産後8週間以内に最初の育児休業を取得した場合でも、特別な事情がなくとも再び育児休業を取得することができるようになりました。

Q 産後・パ育休の日数と給料はどうなっているのか、また改正育児休業条例に該当する職員

は何人か。

A 57日間で、給料は支給しない。なお、その間、妻は100%給料補償されている。対象者は、男性105人、女性53人。

Q 実際に取りうる人が少ない原因は何か。

A 対象者の女性は育児休業、部分休業など100%取っているが、男性は過去に1人しか取っていない状況。全職員に周知し勧めていきたい。

全員賛成で可決しました。

教育民生

議案 3件

伊賀市立学校 設置条例の改正

府中小学校は、城東中学校として統合された旧府中中学校を改修し、移転するため、位置の変更をするものです。

また、本年秋季に建設に着手し、平成24年4月開校予定の上野南中学校を加え、廃校となる「丸山中学校」と「成和中学校」を削除するものです。

Q 南中学校の通学路の整備はどのように進んでいるか。

A 開校に間に合わせるもの、開校後も引き続き整備していくもの等、計画を作成中。

Q 校区再編について、市全体の将来ビジョンはないのか。

A 旧上野市だけでなく、阿山、伊賀地区など範囲を広げて話し合いを進めている。

Q 旧府中中学校の体育館の雨漏りの対応は。

A 別途、年間の修繕計画の中で取り組む。

ほかに、委員から南中学校の施設整備に関し現場の声を参考に、不具合のないよう進めてほしいとの意見がありました。

全員賛成で可決しました。

産業建設

議案 1件

市道路線の認定

県道から市道への移管について、昨年度から県と全市町で協議を行っており、市の区域内における住民生活に密着した道路は市が管理することを基本としていることから新たに3路線（大山田友生線、三反田中出線、平田広垣内線）を県道から市道に認定するものです。

全員賛成で可決しました。

請願

継続審査 都市計画法に基づく 線引き区域等の撤廃について

旧市に存在している線引き区域等の撤廃を求めるもので、3月議会でも継続審査となっていました。

その後当局は市内25カ所で説

明会を実施しました。現在計画策定中で今後の検討状況を把握した上で精査しなければならぬことから、全員賛成で継続審査となりました。



6月 定例会で 決まったこと

条例の改正

市職員の勤務時間、休暇の一部改正

(3)歳未満の子を養育する職員の短時間勤務及び時間外勤務の免除を制度化する)

市職員の育児休業の一部改正(10頁参照)

※全員賛成で可決

みどり保育園に併設している心身障がい児の療育保育施設の一部改正

(みどり保育園の改築に伴い、建設期間中、施設を旧しらはと幼稚園に移す)

国民健康保険の一部改正

市立学校設置の一部改正(10頁参照)

※賛成26・反対1(馬場)で可決

協議議案

ごみ燃料化施設 脱臭装置活性炭の買入れについて

(さくらリサイクルセンターから発生する悪臭公害を防止する活性炭の購入)

損害賠償の額を定め、和解することについて

(訴訟中の市に対する損害賠償請求に対して、裁判所の和解案に従うもの)

市道路線の認定について(10頁参照)

※全員賛成で可決

専決処分の承認

国民健康保険事業特別会計補正予算

(808万1千円の追加)

住宅新築資金貸付特別会計補正予算

(1億993万6千円の追加)

※全員賛成で承認

請願

都市計画法に基づく線引き等区域の撤廃を求める請願 (10頁参照)

※継続審査に全員賛成

決議

議員提出

子宮頸がん予防措置の実施を推進する決議

※全員賛成で可決

子宮頸がんで、子宮や命をなくさないために…

「治療するがん」から「予防できるがん」へ

昨年、国で子宮頸がん予防ワクチンが認証されました。日本では年間1万5千人が発症し、3千5百人が亡くなっていると推計されるのがんの原因として、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が関係していることが解明され、このウイルスに効くワクチン接種と、定期的な検診によって発症を防ぐことが可能な「予防できる唯のがん」と言われています。

本来は、国が公平な医療サービスとして取り組むことが最重要ですが、まず伊賀市独自の「女性の命を守る」視点から、子宮頸がん予防措置実施の推進に、全議員が賛同しました。

決議の内容は、二つ目に、効果が高い13歳前後の接種率を高めるために、公費でこのワクチンを受けることができるように助成を行うこと、一つ目に昨年から実施されている検診の継続と、制度として検診を位置付けるよう検討すること、二つ目にがんの疑いがある細胞がないかを調べる「細胞診」検査と、発症原因となるHPV感染を調べる「HPV検査」を併用し、前がん病変を確実に発見できるようにすること、四つ目にワクチン接種の有効性を市民に伝え、意識向上の啓発と普及に取り組んで、さらにはがん検診の受診率向上への対策を行うことを挙げてあります。

この決議内容が早く実行されることをチェックしていきますが、市民の皆様方も、積極的に検診などを受けていただきますようお願いいたします。

議会報告会

花之木、上野東部、古山、丸柱、山田、玉滝、阿波、桐ヶ丘、神戸地区の議会報告会が7月7日から31日までに終了しました。

議会に対して、市政に対して、また地域の現状の課題など、さまざまなお声を聞かせていただきました。



議会報告会日程 (10月分)

班	議員名	地区名	開催日	時間	場所
1	奥、生中、中盛、北出、中岡	中 瀬	10月 5日(火)	19:00	中瀬地区市民センター
		高 尾	10月10日(日)	19:00	高尾・岳の里会館
2	空森、稲森、西澤、中本、馬場	布 引	10月 9日(土)	19:00	布引地区市民センター
		矢 持	10月13日(水)	19:00	矢持地区市民センター
		友 生	10月19日(火)	18:30	友生地区市民センター
		上野西部	10月 4日(月)	14:00	上野西部地区市民センター
3	岩田、上田、百上、渡久山、森岡	新 居	10月 5日(火)	19:00	新居地区市民センター
		猪 田	10月予定	未 定	猪田地区市民センター
		阿 保	10月15日(金)	13:30	夢街道あお会館
4	森永、近森、田山、前田、坂井	上野南部	10月20日(水)	10:00	上野南部地区市民センター
		依 那 古	10月20日(水)	18:00	依那古地区市民センター
		鞆 田	10月23日(土)	19:00	鞆田地区市民センター
		比 自 岐	10月18日(月)	19:30	比自岐地区市民センター
5	桃井、中井、本城、松村	上 津	10月29日(金)	19:00	上津地区市民センター
		小 田	10月予定	未 定	小田地区市民センター
		諏 訪	10月予定	未 定	諏訪地区市民センター
		柘 植	10月11日(月)	19:30	柘植地区市民センター
		府 中	10月14日(木)	19:00	府中地区市民センター
6	中谷、森、今井、安本	府 中	10月14日(木)	19:00	府中地区市民センター

※10月開催地域の予定は、開催月が変更になることがあります。

今後とも多くのご意見・ご感想をよろしく願います。

(生中)

編集後記

広報委員を担当してから1年4ヶ月、今年の第21号から「より読みやすく」「よりわかりやすく」をモットーに、横書きを縦書きにし、一般質問と答弁の見出しにも工夫しました。

早速、市民のみなさまからご好評をいただきました。それを励みとして委員一同、より多くの方々にご愛読いただけるよう、さらに改善を重ねながら取り組んでまいりたいと思っています。

平成22年9月定例会日程(予定)

9月

1日(水)	本会議 (開 会)
7日(火)	本会議 (一般質問)
8日(水)	本会議 (一般質問)
9日(木)	本会議 (一般質問)
10日(金)	本会議 (一般質問)
13日(月)	決算特別委員会
14日(火)	決算特別委員会
15日(水)	予算特別委員会
16日(木)	各常任委員会
17日(金)	各常任委員会
24日(金)	本会議 (閉 会)

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、傍聴希望日の2日前までに市議会事務局に申し出てください。(対象となる会議……一般質問)
- 議場傍聴席に「磁気誘導ループ」装置も設置しております。

本会議等の模様は午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後7時から)

議会だよりに関するご意見をお寄せください。

発行：伊賀市議会

編集：伊賀市議会広報委員会

TEL 0595-22-9687

FAX 0595-24-7901

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

ホームページ http://www.city.iga.lg.jp